

157 2510

第二十八

軍極秘

東松四號船團部隊機密第六號

昭和十九年四月二十四日

4/25

東松四號船團部隊任務報告

東松四號船團部隊指揮官清田存考

19.4.26
接文

目次

第一	經過概要
第二	經過及重要通信
第三	戰訓所見
第四	功績

第一經過概要(別圖第一、第二参照)

一、東松四院船團部隊護衛艦五月兩(指揮官乘艦)鷓、第二院
 海防艦、天草、福江、隱岐、御藏、驅着五十及輸送船二十五隻、夫
 々出撃準備ヲ完成、三月三十一日横濱沖ニ集合編制ヲ了シ(第三院
 海防艦、四月日、朝風、四月三日、第四院輸送艦、四月五日、夫々航海中船
 団ニ合同)同日東京灣ニ於テ船団運動其、他、諸訓練ヲ實
 施シ翌四月一日一〇〇カイロハシニ向ケ東京灣ヲ出撃概不列島線、
 西側航路ヲ採リ速カ八節ニテ南下セリ

二、前記往航ノ途敵潜トノ戦闘情況概不左ノ通

情 況	回 數	記 事
敵潜ノ雷撃ヲ受ケタ ル後攻撃	三	(一)三月一四五七 A東征丸(PP行ニ八四一噸)被雷 撃沈没
探知 攻 撃	四	(二)九日一六三〇 B美作丸(PP行四六六七噸)被 雷撃沈没
潛望鏡ヲシキキ見攻	一	

電波探知	一	朝風隱岐協同八日三四。敵一隻撃沈概確
発見攻撃	一	美
	二	(四) 美作丸被雷撃後燃トヨリ更ニ雷測天及Vノ協カヲ得 十日三〇迄附近ノ徹底的制圧掃蕩ヲ行ヒタルニ 遂ニ敵艦ヲ捕捉スルニ至ラズ

三、船団部隊中「ハライ」行部隊（護衛艦福江第三號、海防艦、第三號海防艦及間宮外輸送船四隻）ハ八日一六三〇

「トヨ」及大宮島行部隊（護衛艦天草、御藏、驅潜五十及杵埼）外輸送船八隻）ハ九日二〇〇〇何レモ本隊ト分離シ火々目的地ニ向ヒタルトヨ日附東松四號船同部隊ヨリ除カレ、海上海護衛隊司令官指揮下ニ入ラシメラレ

四、「サイ」行部隊輸送船十隻ハ九日二四〇〇護衛艦五月雨、朝風、隱岐ハ敵潛掃蕩終了後十日一五三〇、鴨、驅潜五〇ハ大宮島迄船団護衛ニ任ジタル後支々「サイ」ニ到着セリ

五、四月十四日「サイ」ニ於テ東松四號（復航）船同部隊ノ編制替ヲ行ヒ

護衛艦朝風(旗艦) 鶴 隠岐 駆潜五〇及輸送船七隻より十五日
。四三〇。カインと出撃し列島線、東側航路ヲ探リ速力八節ヲ東京湾ニ
向ケ北上セリ

六前記復航ノ途敵潜ヲ見テ四回三回探知攻撃セルモ何モ敵情ヲ得ズ
七十七日三三〇加古川丸機関故障復旧ノ見込ナク落伍セルニ付鶴 駆潜五〇

ニテ護衛文島ニ向ヘシム

右ノ外各船舶及機材故障續出セルト約三日間荒天ニ會セル為船団
航行ニ相當困難シ且ウラマシ島及母島附近ニ敵潜出現ノ警報ニ依
リ東方ニ迂回航路ヲ採リタルモ幸敵潜ニ遭遇スルコトナク二十三日
東京湾ニ無事帰投シ本任務行動ヲ終了セリ

八本行動中貴重ナル船舶ニ隻ト其ノ搭載物件ヲ海没シ且人命ヲ
失ヒタルコトハ是ニ恐懼ニ堪ハサルトコソナリ

第二 經過及重要通信

日(天氣)	時刻	經過概要	重要通信
<p>四、一 曇 風向E 視界10米 (航海中)</p>	<p>一〇〇〇 一一〇〇</p>	<p>天草隱岐ニ號海防八東京湾口外船 回航路并潜掃蕩ノ爲出撃 東京湾第一锚地(木更津)ヲ合同 順番號ニ出港速久ノ節</p>	<p>一四・一朝風↓F 本艦一日ニ。横須賀着補給 上至急出港豫定</p>
<p>一四三</p>	<p>浦賀東水道ヲ出テ第一艦隊 航行隊形)ニ占位シ第一航路 ヲ採ル</p>	<p>天草隱岐ニ號海防出撃航路掃 蕩ヲ終リ列ニ入ル</p>	
<p>一六〇</p>	<p>福江艦機一時故障</p>		

四、二、一五	曇 風向 NE 12~24米	視界 1000	(飛海中) 0六三〇 0七二五	0七三〇	0八〇〇
--------	----------------------	------------	-----------------------	------	------

(七一五) 第一警戒航行隊形略整
之空運動ヲ始ム (昼間) (全法)
掃二(東京海部隊) 合同前哨五行
附近ヲ警戒航行ニシム

新島ニ近接ス爲急速針路入
度トナス

朝日横須賀發

第二警戒航行隊形ヲ制ル

對潜哨戒機隊及小官着

船四、七、度約六軒附近ニ小偵
急降下爆撃ヲ行ハシメ度ニシテ
船四一時南方ニ避退ス

天草ニ掃三號海防掃二ニ協
同爆撃ヲ行ハシメ結果不明

敵潜水艦ヲ探知爆撃ヲ行
結果不明

現場ニ一隻ヲ残シ他ニ復帰シテ
現場ニ一隻ヲ残シ他ニ復帰シテ

現場ニ一隻ヲ残シ他ニ復帰シテ

現場ニ一隻ヲ残シ他ニ復帰シテ

一六三

對清直衛機停途ニ就リ

一三三。朝風横須賀ヨリ追及合同
一五〇。風向南西風速最大二四米ニ達ス
細雨アリ又飛天ノ為陽列乱ル

一〇〇。制圧ノ為天草ヲ残スニ號三號
海防制圧ヲ止メ船回ヲ追及ス
掃三明三日。六三。逆制圧ニ協力
ノ上原隊ニ復歸ス
一〇〇。三號海防艦追及合同ス

五波↓五月雨(三二五。九)
三十一(月一七四五(西一三八北)ニ至リ
清ヲ探知聴音場同攻撃セリ

五ニ空基地↓五月雨(三二五。九)
東松田艦回航ニ就ル
三日 f₂ 四日 f₂ 五日 f₂
六日 f₂ 七日 f₂

<p>四、三 蜜 厨 12米 初 10米 航 海 海</p>	<p>一七三〇 二〇〇頃</p>	<p>第三警或航行隊形ヲ制シ(夜間) 七四〇托、俄氣心ハ船固ト方至近ノ地東 ニ向ケ通過セルモナシ</p>
<p>〇七三〇 〇九三〇 一〇〇〇 一一三〇 一四五七</p>	<p>天草、蘭灘波島御藏島間ヲ行 テカニ敵情ヲ得カ掃蕩スルハ船固 ニ追及ス</p>	<p>風向西南ニ變ズ 船固上ニ空着 船固上ニ空通過南方ニ去ル 船固上ニ空着直衛ニ就ク</p>
<p>(一五) 朝此現場ニ向フ</p>	<p>天草、御藏ニ及轉、爆雷攻撃ヲナ ス</p>	<p>A東証丸(PP行ニ八四噸)糧秣ヲ積 載シ左舷前部ニ雷撃ヲ(本命中) シ受ケ前部ヨリ沈下ス 船固ハ一時南西方ニ退退後南下ス</p>

見易ノ旨軍ヲ見

五三。五三。海防燔骨攻撃ヲナス(二箇)
六一五 東征丸沈没

「↓」日 横濱ノ航路有任職所(四五)
一五。北緯三度一分東經一三九度
四分ニテ東征丸有撃テ沈没ノ
虞アリ。朝風。天草。隠岐ヲテ別座
救難ニ任ビテ船固ハ一時南西ニ退
退後四日。六。北緯三度四分東
經一三九度十分ヨリ針路(五。度三分
一航路ニ入ル
朝風↓「(。二三三。)
東征丸一六一五沈没。人員六御藏
ニテ救助員數六二名朝風御藏
現場残リ掃蕩中
御藏↓五才雨
總員七三名中一七一名救助員
名朝風ノ命ニ依リ船固退及中

<p>四日 要 風向作 程算 (航路中)</p>	
<p>PP方面より空襲あり敵機動部隊 北上ノ算アリト傍受電ニ依リ 四日五日未だ空襲言ハレニ留意ス</p>	
<p>敵機動部隊ニ對シ空襲成ラ要 ニ第三撃ニ或配備トス 朝風 ↓ (四・五・五) 。四。掃蕩ヲ打切レ追及針路一 八。度速力一六一三。頃合同務定 御藏 ↓ (四・九四六)</p>	<p>朝風 ↓ P 機 ↓ (三・八・五) 一四五兵ニ度一四分北東經一三九 度五分ヲ東征又會撃ヲ受テ 一六一五沈没六三名救助朝風隠 岐現場ニ残り自下敵滑制ノ中</p>

〇六〇。	〇四〇〇の間言一五〇度方同ニ敵替之キ 電波ヲ感知(感ニ)之ヲ避ル為針 度之八〇度トナス
一三五。	朝風 隱岐 追及 合同ス
一三四五。	三號 海防 合同 朝風 隱岐 船回 左方 明方ニ敵替ラ シキモノ探知(三七度五三分北) 朝風 隱岐 驅替五ハ飛行機ト協同 爆撃 甬

總員七名 行方不明ニ名
 ↓ 直接護衛部隊
 尔今會敵ノ際攻殺ノ後制止ノ為現
 場ニ残ルハ特令ナシニ長トス

↑ 艦 ↓ (四一四五)
 一四九號 輸送艦 四日(四) P.S. 向テ及
 五日(六) 頃 船回ニ會合 護衛ニ
 協力スル如ク 行動ノ豫定

<p>一五三。 隠岐ハ掃蕩ヲ打切り船団ヲ追及ス 五月兩右六〇度ニ於テ附近ニ潛望 鏡ヲシキモラ發見爆雷攻撃手(六)</p>	<p>一六二九 福江ヲシテ協同攻撃手トシタルモ後刻 福江ハ附近ニ潛望鏡ノ如ク見ユ浮 流物ヲ發見ス</p>	<p>一七三五 加古川丸イルカヲ誤認シ發砲ス</p>	<p>一一二五 福江船団右前方ニテ敵艦ヲシキモ ノヲ探知爆雷攻撃手朝風之協 同攻撃手(三七度一五分北) (四〇度五分東) 福江攻撃手 後氣泡ヲシキモノヲ認ム</p>	<p>二三四〇 五月兩六〇度方向ニ九〇M.C.ヲ約 ニ分間探知ス</p>
<p>三號海防ヲ一五度進出整三或任ビシム 二號海防レド</p>				

76

0455 491

					晴 風向 NE 7~9 米 覆雲 (航海中)	四 五 〇 四 〇 〇	
〇 七 〇 〇	〇 六 〇 〇						
fx1 上空着	fx2 上空着					追及中、福江より父島ニテ爆雷補 充ノ要求アリ、父島ニ向ハシム	
東松 ↓ (五二〇〇)	認ム	藏攻撃(効果概々確實ト)	射撃爆雷数ニ三個(中七個御)	射尔後附近ニ相當量ノ油湧出	認ム其直上ニ深度一ニ米ニテ投	北道前至近距離ニ著キ氣泡ヲ	指示方向ヲ搜索セモ異状ナシ 今ヨリ定位置ニ就ク 福江 ↓ P 橋 (〇五二〇三〇) 船団右前方護衛中ニ三艦首 一ニ〇米ニ敵潜水探知捕捉直ニ攻 撃ヲナスニ同日ノ攻撃ニ移ラントス 北道前至近距離ニ著キ氣泡ヲ 認ム其直上ニ深度一ニ米ニテ投 射尔後附近ニ相當量ノ油湧出 射撃爆雷数ニ三個(中七個御)

一三〇

北碓黄島通段

第一〇九號輸送艦合同 船名右後尾

或任ス

一四四五

福江父島發船日ヲ追及ス

二三。敵潜發見 卯月制空

二一度四十分北 一四度一六分東

↓ 標サレ航路各艦所 (五三)

常隊六日 北緯三度四五分東經

一四度七分ヨリ針路一七〇度 後第三航

路ニ以豫定ヨリ約五哩邊ナリ

横通

五一九三。敵潜測定概位

北緯三度三分東經一四度三分

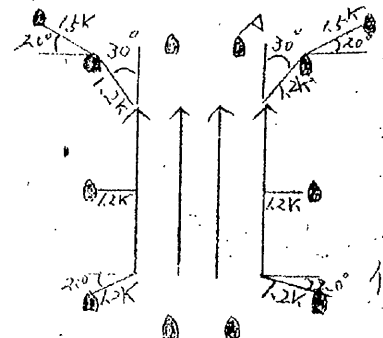
加古川丸輸送指揮官 ↓ (元)

敵情判断 (一) 昨日以來 敵潜水艦

ハ執拗ニ且大膽ニ我船ニ觸

ヲ保持哨線ニ於テ我ヲ襲キ下ス

企圖ヲ抱藏セルモノト認ムル
 尚晝間ニアリテハ我ガ哨戒飛行機
 絶セル場合時々潜望鏡ヲ海面
 より現シ三日セハハ雷跡ヲ見ル
 夜間ニアリテ海中ヨリ發光信標
 (電光彈)ニシテ前半夜ニ於テ船団
 附近ノ水面ヨリ数次ニ且リ穴
 火等射ヲ發スルモノニテ恐ラク
 ヲ發射シツアル敵潜水艦ノ
 新戦法ニシテ神經戰ノ種ナラン
 ヲ發シアリ以上御參考迄申上ク
 ↓加古川丸輸送指揮官
 本日迫殺回爆雷攻撃ヲ實施セ
 ルモ敵潜水艦ニシテハ東征丸洩勿合
 ノミテ他ハ敵潜水艦ノ存在ニ疑問アリ
 護衛艦ハ敵潜水艦ヲ探知セ先
 ツ爆雷攻撃ヲナシ夜間ニハ發

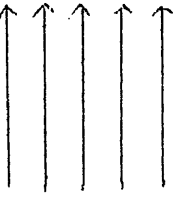
<p>四六 風向北 視界 航中</p>	
<p>〇六五</p>	<p>一四三〇</p>
<p>福江合同 敵艦所在海面ヲ避ル爲第三航路 ノ西方約三十哩ヲ南下ノ下ニ航路 ヲ變更ス 艦政ニ機上至着</p>	<p>新ニ第七艦隊ニ航行隊形ノ制定 畫間ハ本隊形ニ在位セシム</p> 
	<p>老艦ヲ入ルル例トシアリ 三日下ノ處ニ敵艦ノ新戦法又ハ神 經戰ノ訣メラルヒナシ 運輸本部↓ト(〇五ニ〇四五) 建武必行先ヲサイパンニ改ム</p>

八〇〇
第七卷言或航行隊形ニ占位ス

福江
天軍
御藏
艦

〇149 輸送艦

朝



〇 杵 埜

〇 瓊海防
〇 隱岐
〇 三潁海防
〇 伏見

〇 〇 〇
上空直衛機帰途ニ新ノ

一六三〇
一六三三
一六三六
隱岐機械故障(復旧ニ二時間ヲ要ス)
晝夜共之ヲ運動シテ法トナス

↑ ↓ 建武丸 (GER. 六一五四)

運輸本部ヨリ建武丸ノ行先ヨリ改メテ

レタリ

↑ 〇六三〇 (ト)

第二海上護衛隊航空部隊ノ船員
直衛要領左ノ通改メ

三〇省略

<p>晴 風向 視界 8m/2米</p>	
<p>0000</p>	<p>二〇四 二〇五</p>
<p>敵潜水在海面ヲ避クル為第三航路ノ西方約三ノ理附近ヲ南下ス</p>	<p>二〇〇 二〇一 二〇二 二〇三 二〇四 二〇五</p> <p>朝風ヲ驅潜五。敵潛探知現場ニ派遣ス 朝風船固東方至近距離ニ重油ノ浮游スルヲ認メ発着器ヲ入ル 三發海防艦ヲ捨テタルルチト後刻推定 朝風ニ明朝達制圧續行ヲ命ズ 朝風 驅潜五。其ノ後敵情ヲ得ル 制圧ヲ打切リ船固ニ復歸ス(驅潜五ノ敵潛發見ハ探知ナルコト判明)</p>
<p>ト ↓ 多佳山五(0.600)</p>	<p>三松四發船固ノ九九〇ヨリ四三〇迄 九一室大艇ニ機</p>

197

1950

<p>晴 風无巨浪 視界30海里 (船海中)</p>	<p>(船海中)</p>
<p>〇三五〇 〇二三八</p>	<p>〇九二〇 〇九三〇 一〇〇〇</p>
<p>左九〇度一〇〇米ニ五月雨ニ向フ雷 跡ニテ發見 面航一杯前進 一杯ニテ之ヲ回避 ス船自ヨ西方ニ避退セシメ朝風ヲシテ 攻殺手セシム 隱岐潜望鏡ヲ發見 朝風、隱岐現場ニ残シ制止セシム</p>	<p>朝風ニ〇度ニ五分北一四度ニ三分東 ニテ浮流機雷シキモヲ發見 處合ヨリ 以上空ヲ去ル 隱岐航機故障 (復旧ニ時間ヲ要ス) 快晴トナル</p>
	<p>多佳山丸PT行ニ改メタリ 多佳山丸PT (一一三〇) 我殘炭セ。艦三晝夜分ヨリキ文 御傳ヘシガフ</p>

✓

四五七

五月兩左三。度一六料ニ敵潜ヲシキ
 モヲ探知爆雷攻撃(四個)ヲ行フ
 効果不明 尔後ニ護海防ヲシテ制
 壓セシム
 船団一時南方ニ避退後原針路ニ
 復ス

朝風 ↓ P (0.6.3)
 本艦乃及隱岐探信掃蕩中收
 撃点北方約一料附近幅約一。
 米長ニ料ノ油浮流セルヲ認ム。船
 団ノ航路外ニテ且飛散狀泥新
 シク船団ノ油ニ非ナルト判明之
 又テ確認ス
 P ↓ P
 明八日 航空部隊 船団直衛
 要領左ノ通改
 一松四號船団。五三。三三。三三。三三

〇七〇〇

隱岐ニ制圧ヲ止メ船回ニ復帰ヲ命
ジ朝風ヲシテ。。。迄制圧續行敵
情ヲ得ガレ場合復帰スベキヲ命ス

艦攻延八機(七三ヨリ。五。迄九ノ空
大飛延二機

三省略

福江↓(。六。)

昨夜ニ。五。八五度約五時ニ浮潜
水艦ヲ發見直ニ最大戦速ニテ追
跡ヲ始メタル所(同艦ハ増速道七
ヲ企テ左ニ敵潜ナリト判ジ射撃ヲ
ヲ開始セントヒシ時味方識別信號
ニ依リ(一七四)潜ナルト判断セリ

朝風↓(。八。九。)

。三四。北緯一九度三分東經一四度三
七分ノ地点ニ於テ隱岐ハ船回ニ對シ
攻撃セントスル敵潜望鏡ヲ近距離

二〇〇
二 海防艦追及合同

一四四五

一四四五 隱岐追及合同
隱岐合同途中 (八度三分) 二於

離見直爆雷攻撃 (十個)
續イテ朝風。三五。爆雷投射
(九個)。三三。敵潜水艦四三探
知捕捉攻撃 (八個) ヲ實施スルト
コ。六。三。至リ附近海面ニ約
ニ料ニ且リ油ノ浮流セルヨリ見テ
効果確實ト認ム

トケレト

對潜警報 八日 一三三〇

一五度一分北 一四三度一五分東

敵潜水艦

トケレト

カ日ケイ。パン港外ニ於テ東松四號

トシク行船同ニ共榮丸ヲ加入セシム

トケレト 間宮 昭瑞

隱岐ヲハテ部隊ヲ除キ、サイ。ジ

一六三。

テ一式陸攻(三菱二。五號)ノ大破シ
アルヲ認ム

北緯一七度四五分東經一四三度二四
分ニ於テ「バニヤ」進出部隊

間宮神靖丸、大友丸、天竜丸
第五真盛丸

護衛艦、福江ニ號、三號海防艦
分離。ハニヤニ向フ

一八〇。
一八三。

終日對潜哨戒機ヲ見ズ

朝風合同

部隊ニ加ヘ三號海防艦ヲ「バニヤ」
部隊ニ加フ

↑589 ↓ト(一八七四〇)

「バニヤ」内港錨地指定件

朝風 ↓ト

本艦爆雷残り九個

運輸本部 ↓ト(一八二二二)

建武丸、多佳山丸ヲ京宋通支ハPT

PSニ変更件ト

↑9EB ↓ト(一八三三三)

0466

<p>晴 風向 SE 視界 30 料 (航海中)</p>	<p>四九 〇八〇</p>
<p>御藏燃料補給並遭難船員揚陸爲解列PS先行ス (右終)後PT部隊合同)</p>	<p>〇</p>
<p>鵜 驅潜五。八宮島迄現任務 P ↓ 鵜 一 夜間 PS 入港際、燈火点出、件</p>	<p>八日 一〇五度一分北、一四三度五分東 大海参 ↓ 敵潜情報 要旨 四月一日附特設護衛艦司令部官制 GEB 参謀長 ↓ P 潜水艦測定概位 〇三北 一四三東 P CB ↓ P 各護衛艦司令部ノ編入ノ件 GEB 電令作第一二二號 第一護衛艦司令部ハ KEJ =</p>

ヲ續行シタル後PTニ歸投セヨ
P↓昭瑞丸(〇三〇)

(大宮島及トミクノ進出部隊ハ
本日ニ〇頃解列ノ豫定)

ニPTヨリ昔榮丸(〇二噸)加入ノ豫
定

P/FEB ↓ P(〇九三三〇)

四月八日附各護衛船團司令官
發令サレ

F
24B ↓ P

電令作六六號

本九日日夜ヨリ明朝〇六〇道極

カ松四號船團ノ護衛ニ任スベシ

P ↓ 關係各部(〇九四五〇)

PT行ケ行船團部隊ノ行動

豫定ニ關スル件(護衛艦表等)

御藏 村崎

〇 一六一五	美作丸右舷後部ニ魚雷命中 船員ヲ北東方ニ避退セシメテ攻撃 ニ向フ	ト↓口横上ノサイパン基地 一六一五、一五度三分北、一四五度。分 東、美作丸敵潜、雷艇ヲ度々 沈没ノ處アリ
一六三三	朝風爆雷攻撃ヲ行フ	ト↓隱岐(一六五五)
一六三七	五月雨爆雷攻撃	ト↓一四九號輸送艦(一七八)
一六四五	五月雨時マツ蟹威投射ヲ行フ	ト↓一四九號輸送艦(一七八)
一七三〇	東安丸ヲシテ美作丸ニ横付セシメ人 員ノ收容、曳航ニ努メシム	ト↓一四九號輸送艦(一七八)
朝風爆雷皆無トナリテ隠岐 ト共ニ船員ヲ護衛シ内港入泊 嚮導ニ任ゼシム	護衛任務ヲ續行PS向ハ	
一七四三	天草ノ制圧ヲ止メテ船瑞丸ニ合同 セシム	ト↓朝風(一七三〇)
一四九號輸送艦ニ遭難船附近ノ敵 機ニ任ゼシム	船員ヲ護衛シPS内港ニ入レ 美作丸ト↓ト 今ノ處機械室浸水ハ合通四番船 艙浸水 ト↓船瑞丸(一七三〇)	

一八〇。	杵崎ニ人員、收容ヲ止メシメ、昭瑞丸 ニ合同セシム 鷗ヲシテ現場ノ警言、或ニ任セシメ五 月兩ハ遭難地点ヨリ、西方半円三 十哩圏内、掃蕩ヲ行フ速力 一八節ト	トリック大宮島行ノ船圖ヲ隠メ豫定 ノ如ク行動セヨ P ↓ P 朝風 隠岐 (九九七三六) 五月兩、鷗制在中、船圖ハ朝風 隠 岐 護衛シPSニ向ヒツアリ 入港水路ノ嚮導ハ船圖ノ護衛ニ関 シ手配ノ得度 P ↓ 朝風 P 589 隠岐 (九九八〇〇) 朝風ハ船圖ヲ内港ニ入港セシメタル上 速ニ燃料、燈、雷ヲ補給シ、上現 場ニ来レ
一八一。	杵崎ハ遭難者ヲPSニ揚陸シタ 上昭瑞丸ニ合同スベシ	P ↓ 昭瑞丸、杵崎 P 2KEJ (九九八四〇) P ↓ 関係各部 (九九九四五) PP 行 船圖 部隊 (護衛 補 補 江 三 三 三 海 防)

二〇〇
東安丸曳航ニ成功

↓ 横鎮、朝風、鷗、隱岐、
測天、PS、基地、GEB(元五)

一 鷗ヲシテ遭難船附近ニテ救済成

制圧ニ在ビシメ東安丸ヲシテ人員

ソ大部ヲ收容ノ上曳航ニ努カメシメ

ツツアルモ浸水漸次増加シツツアリ

二 五月兩ハ明朝迄遭難地点ノ西方

區域ノ索敵制圧ニ任ズ、五月兩鷗

ハ上空灯ヲ点出シアリ

三 PT(行)部隊ハ豫定ノ如ク行動

セシム

↓ 測天、鷗、横鎮、大海參一部

(〇九二五〇)

美作丸ハ鷗護衛下ニ東安丸ヲPS

ニ向テ曳航中

↓ 測天、鷗、横鎮、GEB、大海

参一部(〇九二四〇)

四 一〇	〇 一〇〇	美作丸沈没ス	
	三四〇〇	まかつ丸、加古川丸、日暮丸、東海丸 丸、松輝丸、第八雲井丸、幸老丸、台 海丸、秋川丸、サノと内港着 (朝風、隠岐護衛御導)	本職現場指揮ヲ執ル 測天ハ美作丸救難並ニ警戒感ニ任ズ 三番ハA点(遭難地点)ノ一八〇度ニ 埋地点ヲ中心トシ東西十海間ノ 制圧ヲ實施シタル後明朝三〇〇迄 A点ニ来レ 四 鶴ハ現任救カラ續行ス 一 番(三三三)ノ 實ハ所要ノ應急員ヲ美作丸ニ 送レ 一 番(三三三)ノ 朝風及隠岐ハ現任救カラ終ノ A点ノ度ヨリ一〇〇度間 A点ニ三〇 湊園内ノ掃蕩ヲ實施シツツA点 三番ニ来レ

快晴
風何米
視界料
航海中

五〇〇
五三〇

宵合同
隱岐合同
探信掃蕩隊形ヲ制
速力十節
遭難地点ヲ中心トスルニ理平方
探信掃蕩ノ實施
朝凧合同

三〇
鵜東安丸ヲ護衛シPS着

鵜(七五三)
鵜東安丸ヲ護衛シPS向

敵潜制圧ノ状況並ニ今後ノ方針
次通

一九日夜間鵜ヲ以テA点附近ニ五月兩
ヲ以テA点ノ一八度ヨリノ度ニ至ル
西岸内ニ理園内ノ掃蕩制圧ヲ
實施シ一日五三ヨリ五月兩

測天、朝風、隱岐ヲ以テA点ノ中心
 トスルニ、理平方海面、探信掃蕩
 中ナルモ未ダ敵情ヲ得ズ
 二本十日夜間ハA点ノ概ネ五ノ理
 上ヲ五哨区ニ分チ哨戒制庄シ明十
 一日午可更ニA点附近ノ探信掃
 蕩ヲ實施シ豫定
 三、目下ノ處九日夜間敵潛ヲ北
 方又ハ南方ニ逸シタル算サアルニ
 五考ヘシレ
 十一日正午迄敵情ヲ得サレ之ニテ
 打切ルニトス
 P↓朝風、雷、隱岐、測天、(一六三〇)
 今夜掃蕩要領ヲ左ノ通定ム
 一哨区
 A点ノ四ノ理(測天、五ノ理)ノ上トシ
 朝風、A点ノ一六ノ度ヲ三ノ度迄間

一六四。各艦列ヲ解キ哨区ニ就ク

隱岐 三〇度ヨリ三〇度迄ノ間

五月雨 三〇度ヨリ一五度迄ノ間

雷 一五度ヨリ八五度迄ノ間

測天 八五度ヨリ一〇〇度迄ノ間

三哨区要領

解列セ、五月雨ハA点、三〇度

ヨリ、点ニ就キ一〇〇度發動シ

圓上ヲ右廻リ二十八節ニ移動

哨区敵替ノ脱出ヲ阻止ス

各艦ハ右要領ニ準ジ實施ス

三、明十一日〇七〇〇集束点ヲA点

ノ三三五度五理トシ、尔後探信掃

蕩ヲ行フ

四、敵情ヲ得サ、六、明日正午一ヲ以テ

本掃蕩ヲ打切ル豫定

五、連絡電波ニニ〇〇K.L

一七〇。

鷓掃五八東安丸ヲ護衛シ大宮島ニ向ケPS發

戸横 ↓ P 2KEJ 五月雨、天草御藏

(一〇、八三)

機密横鎮電令作第三八三號

一天草御藏、驅潜五。及PTG行

船回(船名略)ヲ東松四號船回部

隊ヨリ除キPTGノ指揮下ニ入ル

ニPT司令官ハ前項(船回)部隊ヲ

テ五。驅潜艇ニ護衛ヲ繼續セ

シルト共ニ其ノ大宮島着後迄

適宜五。號驅潜艇ヲPSニ回航

ト直接護衛部隊ニ合同セム

ベシ

戸横 ↓ P 2KEJ 間宮福江ニ發 三號

(一〇、二三五)

機密横鎮電令作第三八四號

<p>晴 風高 3~6丈 船海中 サハシ之塔</p>	<p>四一 〇七〇〇</p>	<p>各艦A点(美作丸遭難地点)集 合敵情ヲ得ズ探信掃蕩隊形 ヲ制リ昨日ノ掃蕩海面ニ西ノ方 南方ノ探信掃蕩ヲ行フ 探信掃蕩ヲ止メPSニ向フ 五月兩朝風陰岐、雷測尺PS 内港着</p>	<p>一 福江ニ號三號海防艦及PP行船 團(船名略)ヲ東松四號船團部 隊ヨリ除キ茅ニ海上護衛隊司令 官ノ指揮下ニ入ル 二 第二海上護衛隊司令官ハ前項 船團部隊ヲテ前動ヲ續行セ シヤハシ</p>
<p>尸鎮 機密機鎮電令作茅ニ九。號 五月兩ヲ直接護衛部隊ヨリ除フ</p>	<p>尸鎮 機密機鎮電令作茅ニ九。號 五月兩ヲ直接護衛部隊ヨリ除フ</p>		

四、一三	晴 風向 NE 速 6 呎 カノボ内 カノボ中	
。八三。	。七三。 。二〇。	
東松四號船同船長研究會朝風	鷓 午ヨリ帰着 驅替五。午ヨリ帰着 五月兩ハ丁直接護衛部隊ヨリ除 カノボ旗ヲ朝風ニ移揚ス	
		<p>三丁直接護衛部隊指揮官ノ乗船ヲ朝風ニ指定</p> <p>三丁直接護衛部隊指揮官ハ茅海 上護衛隊司令官ト協議シカノボニ於 テ東松四號船同ノ編成替ヲ實 施シ之ヲ護衛ニ檢須賀ニ帰投ス (カノボ碇泊ノ準備期間ハ五日間ヲ 準トス)</p> <p>四茅海上護衛隊司令官ハ丁直接護 衛部隊指揮官ノ協議ニ應ジ為 シ得ル限リ多数ノ部下艦艇ヲシテ 前項護衛ニ協カセシムヘシ</p>

<p>晴 風老作味 視界料 (航海中)</p>	<p>晴 風老作味 飛海 港破浪中</p>	<p>晴 風老作味 飛海 港破浪中</p>
<p>四一五 〇四三</p>	<p>四一四 〇八〇 一三三</p>	<p>一六〇</p>
<p>東松四號復航船回部隊PS出撃 護衛艦P朝風、鯨、隱岐、驅潜五。 船回 本か、三丸、自峯丸、夕佳山丸 東崗丸、加古川丸、日方丸 台海丸、第八雲洋丸</p>	<p>驅潜五。日方丸ヲ護衛ニPS着 船長會報及作戰打合於五根夏部</p>	<p>三日及四日兩日船回部隊ノ信號訓 練及丁直接護衛部隊ノ通話 訓練ヲ行フ 間宮、三號、三號海防艦、福江、大安丸 天倉川丸、第五真盛丸PPヨリ水道着</p>
<p>東松四號(船回第三合同)(英艦不丸加入) 〇六三。PT着</p>	<p>以下略 東松四號(復航)〇五〇ヨリ 五根陸攻延方機。五〇ヨリ七〇迄 九〇空大艇一機</p>	<p>PT 2KE9 ↓ P 明日五日KE9 ヲノ船回直衛要領左 ノ通</p>

- 〇五〇〇 對潜哨戒機隊の機上空着
- 〇六〇〇 第一遊撃隊航行隊形ヲ制御
- 〇六三〇 之ヲ運動シテ法ヲ始ム
- 一三〇〇 東崗丸機関故障ニテ落伍ス
- 一三二〇 東崗丸護衛ヲ為シ船ヲ派遣ス
- 一三三五 東崗丸故障復旧
- (高圧ボルトン衛帶交換)
- 一三四〇 東崗丸收容空母為ニテ及轉ス
- 一四〇五 隱岐船団ノ西方ニテ (一ノハト北東)
- 敵潜ヲシキモノヲ探知爆雷攻撃
- (三)ニテ後制圧ニ任ズ
- 一五二〇 索針路トナス
- 一五四五 隱岐追及合同ス
- 一六三〇 對潜直衛機上空ヲ去ル

▽147 ↓ (一五二・三七)
 ウラクス島ハ北三度五理敵浮上
 潜水艦ニ隻針路ニ七〇度

明海護航空部隊ノ船団直

一八。 第二款言戒航行隊形ノ制ル

(晝間第一夜間第二)

ウラクスニ敵潜出現セルニ付ウラクス附

近ハ豫定航路ヨリ更ニ約四十哩東

方ニ航路ヲ変更ス

衛要領、左ノ通

(松江) 船圖。六〇。一六四。遠丸。

重丸

以下略

口横領ト(五三〇一)

對潜情報

一横領八十五日。八五五ウラクスニ

八度五理ニ於テ敵浮上潜水艦一隻

ヲ発見次テ其ノ二五。度ニ。渾ノ地点

ニ他ノ敵浮上潜水艦ヲ発見セリ

針路何レモニヒ。度

二十五日第一保護管區敵ヲ見カ

<p>晴 風向作味 視界料 (航海中)</p>	<p>四一七 。七五 一四五 對潜直衛機(五根)上空着 機(對潜直衛)帰途ニ就 鵜機南兵所左不明ノ報アリ</p>	<p>半晴 風向 NNE 視界料 (航海中)</p>	<p>四一七 。五三 朝風右前方ニ敵潜ニキモラ探知 脅威投射(三)ヲ為シ船回ヲ一時西方 ニ避退セシム魚群ニキモラ探知 (西一七(東)) 驅潜五。船回左側ニテ前方ニ敵潜ヲ ニキモラ探知爆雷攻撃(五)ヲスル 國一時北東ニ避退シ驅潜五。ヲシテ制圧 セシム 鵜協同ニ同ニタレモ。七三。復帰セシム (二五(二北)) (二五(二東))</p>
<p>ト ↓ト(二六二七四五)</p>	<p>明十七日船回直衛要領左ノ通定 栗松疑船回(復航)八三ヨリ三。迄 九。空大艇(機) 以下略</p>	<p>知島 ↓ (一七。七五二)</p>	<p></p>

八四五
驅潛五。制圧ヲ打切り船圖ヲ追及ス
一〇三〇
驅潛五。合同ス

二二〇〇
加古川丸ヲトビシテ翼六齒車損傷勿落
佐流舟艇ヲ派遣ス

東松四號船圖護衛要領左ノ通

二東松四號船圖

二〇日。五。〇。一。一。方。零水六機直衛

二二日。五。三。一。六。三。合右ニ機

二二日。五。三。一。五。四。五。合右四機

(其他略)

全域丸トシテ(二七(七。))

二度一分一四度四分ニ敵浮上潜水艦

アリ

艇トシテ

(二二五)五番船トシテ翼六齒車破損

修理ノ見込アリ

(二四五)以後、護衛及寄港地ニ就キ指示ヲ

<p>四六 星 風角EVE 視界 (航海中)</p>	<p>一三〇 五二〇</p>	<p>〇五二〇 肥潜五〇列ヲ解キ及轉加古川丸ヲ護衛ニ向テ 風波ヲ増シ稍荒天トナル</p>	<p>得度 (三〇六) 現航行ニ節ナリ (三〇七) 五番船父島迄曳船ノ手配御願ヒス尙現航行速ク四五節ナリ ト直接護衛部隊(八〇五〇〇) 一 鴨 肥潜五〇ハ加古川丸ヲ護衛シ父島ニ面 飛ル後加古川丸情況ニ應ジ父根司令 部ト協議シ上適宜ノ船員ヲ護衛シ ト横須賀ニ帰投スベシ 二 十七日モ母島ノ南ニ三埋ニ敵潜アリ父 島ノ航路ハ北緯ニ六度三分東經ニ四三 度三分附近ヲ經由スベシ 三 父根ヘハ前方ヨリ連絡ス</p>
<p>鴨 ↓ P (二八二三〇)</p>			

白 110° 01' 10" 北 139° 30' 30" 東 二 度 一 分 二 四 度 五 分 東

護衛艦ニ復微速カ飛行中異狀ヲ
 ↓上鵜(伊横) (一八一三〇)
 如古川九十九日三三〇三三度三分北二四
 五度五〇分東ニテタルビン羽異齒車損傷
 的五節飛行可能取敢テ鵜驅
 潜吾ニテ護衛ニ六度三分北二四三度
 三〇分東ヲ經テ父島ニ向ハシム
 護衛艦ニ配慮ヲ得度
 三 船日本後敵潜情混ニ鑑ミ十八日
 一三〇三三度四三分北二四五度三分東
 十九日一三〇三六度一六分一四四度四八
 分地点及二十日一三〇三八度四四分一四二
 度五七分地点ヲ經テ第一航路ニ入ル豫
 定
 三 朝風鵜十八日三〇ヨリ父通通
 信系ニ入ル

<p>四一九 曇 風向E吹 視界劣 (航海中)</p>	<p>四二〇 雨後晴 風向W吹 視界劣 (航海中)</p>	
	<p>〇一〇〇</p>	<p>〇三四五</p>
<p>存在確實對潛敵報ヲ接シ音部隊被発見ノ算トシ鑑ミ警言或ヲ特ニ警戒ス</p>	<p>風向南ニ変ル 自早九時故障落伍セルヲ隠岐ヲ護衛ニ爲泳遣ス 尔後。九。頃迄、間ニ圃ニ且リ機械故障ヲ生起シ落伍船同半速カトナシ其ノ節度待合ス 雨トナリ視界不良トナル 風向西ニ変シ次第ニ晴ル 是時次第ニ大トナル</p>	
<p>↑ GER ↓ 對潛敵報 (八八三三) 西度。分 (四三度三〇分 方位測定)</p>		

<p>四二二 時 一三〇</p>	<p>晴 風向 視界 30料</p>	<p>四二一 二一五</p>	<p>一五〇 一六三 一九〇</p>
<p>機上空着約十分後東方ニ着</p>	<p>風波次第ニ風グ 如古リ丸 鷗 駆潜五ノ父島着</p>	<p>朝風原位置ニ復帰ス 射撃ノヒット判明</p>	<p>一五〇 一六三 一九〇 一五〇 一六三 一九〇</p> <p>一五〇 隠岐船団左前方ニテ敵潜ヲシキ モヲ探知攻撃(三個)船団一時北東 ニ退ス(三ノ一八北) 一六三 隠岐探知制圧先モ敵情ヲ得ハ 制圧ヲ打切り一七五船団ニ合同ス 一九〇 一番船ヲ八雲洋丸船ニ向ヒ機銃射撃 ヲス 隠岐ニ船団ヲ嚮道中セシメ朝風直 ニ面舵ニ反轉搜索セルモ敵情ヲ得ハ 第八雲洋ト通信ヲ依リ怪ニ千灯ニ付シ 射撃ノヒット判明</p>
<p>△△△ 交報(戸橋) 鷗(三ノ一八北)</p>			

<p>四三 晴 風向 視界 (航海中)</p>	<p>三〇〇 三〇〇 九〇〇 一〇〇〇</p>	<p>三〇度方向約一〇哩ニ大島ヲ認ム 淡霧アリ 東京湾口掃海氷道ニ入ル 船団解列横浜ニ向フ 朝風、隠岐横須賀着</p>	<p>三二二〇三</p>				<p>参東松四院船団部隊指揮官 鳥取濱吾ハ適宜船団ヲ護衛運横 須賀ニ至リ九〇機周状況ニ應ジ適宜ノ 船団ニ加入東京湾ニ帰投ノトニ取計ル度 ↓ 横須賀 (P 9EB 館六父島ノ基也) (三二二〇三) 参東松四院船団部隊指揮官 三二二〇三 三三度 三三度 三三度 三三度 三三度 三五度 実速六五節 明日 六〇〇 三三度 一五度 五五度地点ヲ通過北上豫定</p>
---	-------------------------------------	---	--------------	--	--	--	--